

令和8年度菊池寛記念館特別講演会
講談で聞く菊池寛作品

| 演題 |

かたき うち はは こ づ

敵討母子連れ (菊池寛原作)

| 講談 |

神田 愛山

2026

10.31 土

時間

10:30-12:00 (開場10:00)

会場

サンポートホール高松
4階 第1小ホール

進行

菊池 夏樹 (菊池寛記念館名誉館長・菊池寛直孫)

入場無料 要申込 先着300名



©橘蓮二

申込み
方法



◀ 申込みはこちらから

9月1日(火) 9:00 から受付

- ・申込みは1人1回のみ。申込み時に氏名、住所、電話番号を御記入いただきます。
- ・申込み完了後、受付番号記載の送信完了画面を保存し、当日受付で御提示ください。

お問い
合わせ先

菊池寛記念館 仮事務所 (平日 9:00 ~ 17:00) TEL 087-861-4502

〒760-0012 香川県高松市瀬戸内町 30-5 高松市中央卸売市場 管理棟2階

- ・菊池寛記念館仮事務所でも申込み可能です。(電話・FAXは不可)
- ・菊池寛記念館は令和9年秋頃までリニューアル工事のため 休館中です。

かたきうち はは こ づ

菊池寛原作 「敵討母子連れ」 とは…

【あらすじ】 武士の面目をかけた果し合いで、父を討たれた竹之助。母とともに敵討の旅に出るが、病弱な竹之助は病に倒れてしまう。静養のために釣りを始めた竹之助は、一人の老武士と出会い、交流を深めるが…。

菊池寛が1936年（昭和11年）に、雑誌『富士』で発表した短編小説が、実力派の神田愛山師によって講談になりました。本講演会では、講談の技法や歴史、修行過程などに加えて、「敵討母子連れ」の魅力についてお話していただいた後、実際に演じていただきます。



©橘蓮二

かん だ あいざん 神田 愛山 講談師

1953年 栃木県佐野市生まれ。駒澤大学中退
1974年 講談師・二代目神田山陽に入門。前座名は「一陽」
1977年 「一陽」のまま、二ツ目に昇進
1987年 真打に昇進。「二代目 神田愛山」を襲名

日本講談協会副会長を務め、現在は相談役

1981年 第四回本牧亭講談奨励賞を受賞
2001年 第六回小説新潮「体験小説」入選



撮影者 菊池未尋
（菊池寛曾孫）

進行

菊池 夏樹 作家・菊池寛直孫・菊池寛記念館名誉館長

1946年東京都生まれ。父は菊池英樹（菊池寛の長男）。立教大学法学部卒業後、69年文藝春秋入社。池波正太郎の『鬼平犯科帳』シリーズをはじめ、井上ひさし、松本清張、渡辺淳一ら100名近くの作家・漫画家を担当。現在、菊池寛記念館名誉館長、日本ペンクラブ企画事業委員会副委員長、日本文藝家協会会員。

主な著書に『菊池寛急逝の夜』（中公文庫）、『菊池寛と大映』（白水社）、『菊池寛のあそび心』（ぶんか社）など。



菊池 寛 (1888-1948)

香川県高松市に生まれる。代表作に「父帰る」「恩讐の彼方に」「真珠夫人」など。『文藝春秋』を創刊し、芥川賞・直木賞を創設するなど、後進の育成にも尽力した。



菊池寛記念館
Kikuchi Kan Memorial Museum